

対象国の条件:

研修コース番号:201984553-J002

案件番号:201984553

主分野課題:運輸交通/国際交通

副分野課題:

使用言語:英語

**案件概要**

途上国において今後も増大することが予測されている航空需要に安全を阻害することなく対応するためには、空港から出発又は到着する航空機に対して近年各国で導入されている新たな技術(航空機に搭載した飛行管理コンピュータとGPS等の衛星を組み合わせた航法)を使用した柔軟な飛行経路を使用した新航空管制経路が不可欠である。この飛行方式の設計には、関連する基準や手法について精通する必要があり、それを目的に本研修を実施する。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

新航法に基づいた航空管制経路設計能力が習得される。

**【対象組織】**

航空交通・管制業務を所掌する機関

**【成果】**

1. 日本の飛行経路設計における品質保証への取組みについて理解する。
2. 飛行経路設計の設計基準について理解する。
3. 飛行経路が設計できるようになる。
4. 飛行経路設計ソフトウェアの概要について理解する。

**【対象人材】**

- (1) 飛行方式設計者、航空管制官、飛行検証操縦士など、航空航法設計従事者
- (2) PANS-OPS基礎トレーニング修了又は同等の知識・経験を有していること
- (3) 十分な英語力を有している者
- (4) 健康状態が良好である者

**内 容**

本研修は実在する空港を例にとり、飛行経路について設計する演習がカリキュラムの中心となっている。また、講義、小演習についても研修員は実際に手を動かして課題を解くことにより、飛行経路設計に必要なスキルを効率的に習得できるようになっている。

**【事前プログラム】**

- (1) カントリーレポートの作成
- (2) 本分野に関する基礎知識に関する筆記試験(試験結果を受けて本邦プログラムの進度を調整する)

**【本邦プログラム】**

- (1) 飛行経路設計概論、新飛行方式(PBN)概論、品質保証、(いずれも講義)
- (2) 国際民間航空機関(ICAO)が作成したマニュアル(PANS-OPS)に基づく飛行経路設計(講義、小演習、演習)
- (3) 飛行経路設計ソフトウェア操作(演習)
- (4) 地図・物件データ(講義)、測量実習
- (5) アクションプランの作成、発表

※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創(Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。

**本邦研修期間**

2019/6~2019/7

**担当課題部**

社会基盤・平和構築部

**所管国内機関**

JICA東京(経済環境)

**関係省庁**

国土交通省(運輸)

**実施年度**

2017~2019

**主要協力機関**

株式会社NTTデータ アイ

**特記事項  
及び  
ホームページ**